



1. 第10回 EC センター総会報告

日 時：平成24年5月22日（火） 15：30～

場 所：JEITA 会議室

出席会社数：64社

来賓挨拶：

松田 洋平 様

経済産業省 商務情報政策局 情報経済課

兼谷 明男 様

一般財団法人 日本情報経済社会推進協会

平成23年度事業報告および決算、平成24年度事業計画および予算の審議を行い、全て原案通り承認された。また、平成24年度役員は下記の方々を選出した。

会 長：竹田 弘康 氏

富士通（株）執行役員 購買本部長

副会長：米谷 信彦 氏

アルプス電気（株）常務取締役 管理本部長

副会長：高田 範雄 氏

一般社団法人 電子情報技術産業協会 理事

なお、平成24年度事業計画における重点項目は以下のとおりである。

- (1) 業際化への対応
- (2) 国際化対応
- (3) ECALGA 実用化の推進
- (4) 中堅・中小企業への対応
- (5) 標準の維持管理体制の整備

2. ECALS 実用化推進 TF の状況報告

EC センターでは、ECALS を従来の部品検索から BtoB でのコンテンツ流通へ方向転換しようとしている。

ECALS コンテンツを実業務の中で活用することを表明している企業（ソニー・キヤノン）もあり、フェーズ1では、ECALS

コンテンツ流通、活用の成功事例を作る、フェーズ2以降では活用・提供企業を限定せず ECALS コンテンツ普及・拡大・定着を図ることを目的に、実際の活用・運用を意識した従来以上に現実味をおびた活動になることを期待して、ECALS 実用化推進 TF を立ち上げた。

現在、ソニー（株）、キヤノン（株）が希望する ECALS コンテンツの初期データを TF に参加しているサプライヤ（アルプス電気（株）、KOA（株）、TDK（株）、（株）東芝、ルネサスエレクトロニクス（株）、（株）村田製作所等）が提供することとし、初期データを提供するための諸条件（送受信方法、提供範囲、コンテンツ内容等）の整備を行っている。

机上の抽象的な議論だけでなく、実際に ECALS コンテンツ流通を行い、実業務の中での活用で明らかになった問題・課題を解決していくことができる点で、より確かな前進につながると思われる。

3. JEITA / ECALGA ビジネスガイドの会員公開

EC センターでは、サプライチェーンに関わる各種の業務設計・運用業務への活用を目的として、ビジネスガイド（Web サイト）を立上げ、EC センターホームページ会員サイトに公開した。

ビジネスガイドでは、「サプライチェーン業務の組み立て方とその勘所」「JEITA / ECALGA 標準の利用の仕方（使い方）」について、EC センター会員企業のビジネス事例を交えながら、各種コンテンツを紹介している。また、JEITA / ECALGA 標準に関する事柄に留まらず、一般的な情報、標準以外の事例など、会員企業が直面する実業務に関する実践的な事柄についても紹介していく。

4. IEC/SC3D/WG2 (電気・電子技術分野のメタデータライブラリ) 出席報告

日 時：平成24年6月19日～21日

場 所：韓国／ソウル

出席国：日本、韓国、ドイツ、イギリス、
フランス

IEC/SC3D は、電気・電子分野の技術情報を表現するための辞書（メタデータライブラリと呼ぶ）IEC CDD (Common Data Dictionary) を発行しており、EC センターが管理する企業間 (BtoB) の技術情報流通を目的とした ECALS 辞書を参照するなど、技術的に緊密に連携している。

EC センターでは、約一年前から ECALS 辞書のさらなる国際的地位向上のため、ECALS 辞書を CDD へ提案する活動を開始した。最

近、半導体に関する分類の一部 (IGBT、コンパレータ) を IEC に新規提案し、今回の WG ではその内容説明と課題について検討を行った。この結果は、IEC の提案評価期間内にコメントとして反映させていくこととなった。また、今後の予定として今年度後半の提案計画 (電源用 IC、メモリ、汎用ロジック) についても説明を実施した。

このような日本の積極的な取り組みに対し、SC3D からは、ECALS 辞書の IEC CDD への提案を歓迎する旨の公式ステートメントが採択された。

今後とも、ECALS 辞書のグローバルな実用化を目的に、IEC CDD への提案を着実に進めていく所存である。

JEITA REPORT vol.02



Activity Report